



1. 北海道新聞 (8/5)

NPO法人化へ  
「青空」に助成金  
損保ジャパン財団  
損保ジャパン記念財団  
(東京)は釧路を中心に  
活動する「地域たすけあ  
いサービス 青空」(鍵  
政弘子代表)に三十万円  
の助成を決め、損保ジャ  
パン東北北海道支店でこ  
ほど贈呈式を行った。  
同財団は特定非営利活  
動法人(NPO法人)設  
立を目指す全国の社会福  
祉団体に助成しており、  
今年は七十団体を助成。  
「青空」は一九九九年に  
設立。登録会員同士で家  
事や高齢者介護などのサ  
ービスを交換している。  
助成金の証書を受け取  
った鍵政代表は「NPO  
法人化することで今以上  
に地域の人たちに安心し  
て利用してもらえ」と  
感謝していた。

釧路地域は「青空」に

損保ジャパン  
記念財団 社会福祉助成金を贈呈

財団法人損保ジャパン(PO法人)設立資金とし  
記念財団の2005年度で贈呈されるようになっ  
た。今年度は全国で22  
社会福祉助成金が、26日  
釧路市内の損害保険ジャ  
パン東北北海道支店で、地  
域たすけあいサービス青  
空(鍵政弘子代表)に贈  
呈された。  
この助成金は28年の歴  
史を持つが、99年度から  
贈呈式では財団理事長  
特定非営利活動法人(N  
は30万円。  
贈呈式では財団理事長  
代理者の東北北海道支店吉



鍵政代表(左)に通知書を渡す吉竹支店  
長(右)

竹俊道支店長が、鍵政代  
表に決定通知書を手渡し  
た。「青空」は99年に  
市民の相互たすけあい組  
織として発足。会員制で  
家事援助、介護や通院介  
助、雪かきなどのサービ  
スを有料提供している。  
サービス提供の報酬をお  
金でなく、将来自分のた  
めの援助権利として保有  
することもできる時間預  
託制など、ユニークで細  
やかな助け合いを実践し  
ている。  
鍵政代表は「NPO法  
人化は設立当初からの目  
的、資金ができて大変  
助かった。介護保険指定  
業者とはならず、これか  
れも保険のすきまで困っ  
ている人の助けになるサ  
ービスをこころで行っ  
ていきたい」と謝辞を述べ  
た。  
(坂上めぐみ)

2. 釧路新聞 (7/28)

「福祉ネット」に  
30万円の助成金

損保ジャパン  
記念財団

損保ジャパン記念財団  
(東京)は、本年度のN  
PO法人設立資金の助成  
対象に、知的障害者の就  
業支援に取り組む仙台市



福祉ネットABCの松浦  
さんに、助成金の目録が  
手渡された

宮城野区の「福祉ネット  
ABC」を選び、助成金  
三十万円を贈った。  
損保ジャパン仙台支店  
(仙台市宮城野区)で、  
梶谷良一支店長が福祉ネ  
ットABCの松浦典子さ  
んに目録を手渡した。N  
PO法人化の認可申請中  
という松浦さんは「パソ  
コン購入などに充てた  
い」と感謝した。

福祉ネットABCは昨  
年十月に設立。知的障害  
者にレストラン事業や弁  
当販売の仕事を提供し、  
自立を支援している。  
記念財団は一九九九年  
度から毎年、NPO法人  
を目指す民間福祉団体な  
どに助成している。今回  
は全国で七十団体が選ば  
れた。

3. 河北新報 (8/29)



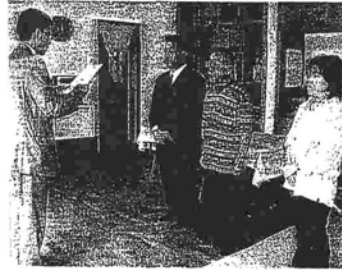
5. 北海道経済 (10月号)

4. 北海道新聞 (8/31)

損保ジャパン記念財団が  
ゆい・ゆいに社会福祉助成

損保ジャパン記念財団(旧安田火災記念財団)はこのほど「ゆい・ゆい」に、社会福祉助成金30万円を授与した。

1977年に設立された同財団は、社会福祉の最前線で活躍する団体への助成事業、また学術的側面から



社会福祉の発展に寄与する学術研究に対する助成を行っている。

福祉活動を行う団体への助成はこれまで約1600件累積10億2000万円実施しており、今年度も全国にある70の団体に授与した。道内では4団体に授与されており、信頼しあい助け合える地域社会実現を目指すゆい・ゆいも対象となった。

8月30日には損保ジャパン北・北海道支店の登坂秀峰支店長がゆい・ゆいを訪れ、野々村代表に認定書を渡した。

知的障害者の支援  
団体に30万円贈る

損保ジャパン記念財団(東京)は三十日、旭川市神楽岡の知的障害者支援団体「ゆいゆい」(野々村雅人代表)にNPO法人設立資金として三十万円を贈った。同財団は一九九九年から資金贈呈をしており、今年には全国七十団体が対象になった。



NPO「ゆい・ゆい」設立

旭川市内で知的障害者支援施設の運営活動を始めるため、NPO(特定非営利活動)法人「ゆい・ゆい」

発足の準備に余念がないのは、野々村雅人さん(35)

(同市神楽岡8条4丁目3ノ4)。住宅を新たな活動拠点として、知的障害者の



プ、障害者レク・スポーツの支援充実などを手がける

計画だ。既に軽度の知的障害を持つ女性(36)の生活支援を始めており「障害者福祉と

介護保障が将来一緒になる時のために、居宅グループホームのような施設を目指す」という。

前職は、剣淵町の知的障害者施設、西原学園の地域生活支援担当職。道レクリエーション協会生涯スポーツ担当理事を務め、実は神主の免許も持っているという変わり種。国学院大を卒業後、北海道神宮(札幌)で修行も積んでいる。

「剣淵にいた時から一般向けにレクリエーションスポーツの集いもしていたんです」。その経験から、今年11月には旭川市障害者福

8月30日 特定非営利活動法人「ゆいゆい」を登坂支店長と共に訪問し贈呈式を行ってまいりました。非常に感謝されました。

自宅兼事務所を知的障害者に開放しており、まさしく地域に根ざした活動をされておりました。野々村代表の熱意がひしひしと伝わってきました。

(北北海道支店  
リーダー 井上成生さん)

6. メディア旭川 (10月号)

福祉施設「おびった」を会場に、ニユーススポーツの会を開く準備も着々。  
NPO法人設立のための支援をしている損保ジャパン記念財団(東京)の社会福祉助成(30万円)も決まり、東奔西走している。

「NPOで頑張れ」  
盛岡の団体に助成

損保ジャパン財団

損保ジャパン記念財団は、特定非営利活動法人(NPO法人)設立資金として盛岡市前九年一丁目の障害者支援団体・六等星(齋藤真也代表)に三十万円を寄付した。贈呈式は盛岡市中央通二丁目目の損保ジャパン岩手支店で行われる。坂本守支店長が「法人化でさらなる発展を期待している。地域の社会福祉向上に貢献してほしい」と齋藤代表に助成金決定通知書を手渡し

た。六等星は現在NPO法人設立申請中。障害者の通所施設を手掛けており、今後は地域社会との交流も進める。齋藤代表は「寄付は本当にありがたい。障害者が安心、充実した生活が送れるようサポートしていく」と感謝した。



坂本守支店長から助成金決定通知書を受け取る齋藤真也代表(左)

六等星に活動費助成  
損保ジャパン記念財団

損保ジャパン記念財団(平野浩志理事長)の2005年度福祉助成で、県内2つの団体にNPO法人設立資金が助成されることにな

った。贈呈式は10日、盛岡市中央通の損保ジャパン岩手支店(坂本守支店長)で開かれ、体験をキーワードに障害者の生活を支援する「六等星」(盛岡市、齋藤真也代表)が30万円の助成を受けた。同財団のNPO法人設立資金助成は1999年度から実施され、今年で7回目。法人化した福祉団体が地域社会から認知されることで、地域の社会福祉向上に寄与するのが狙い。今年度は全国229件の応募の中から70団体が選ばれ、各30万円、合わせて2100万円の助成が決定した。本県からは六等星



損保ジャパン記念財団の福祉助成を受けた六等星の齋藤代表(左)

と「つばさの会」(盛岡市晴山恵美子代表)が選ばれた。坂本支店長は「いずれも法人化することで

大きく発展することが期待される。地域の社会福祉の向上に貢献されることを期待している」とあいさつした。

来賓を代表し、石川うしても体験活動が少くない。法定事業だけではまかなえないすき間部分に目を向け、この街で暮らして楽しいと思ってもらえるような支援をしていきたい」と話していた。いずれは子供の一時預かりや学童保育なども視野に入れていくという。早ければ9月中旬にNPO法人の認証を受ける予定。つばさの会への贈呈式は9月以降に開かれる。



NPO法人設立助成金贈呈式



NPO法人の  
設立資金贈る 米沢  
損保ジャパン財団  
損保ジャパン記念財団  
(平野浩志理事長)は



日、米沢市の特定非営利活動法人(NPO法人)「置賜自然と共育の村」(黒沢慶理事長)に、NPO法人設立資金として三十万円を贈呈した。置賜自然と共育の村は、同財団への応募時にNPO法人設立を計画中で、今年六月二十九日に認証を取得。米沢市口田沢で小規模作業所の「かこの家」「がんばる堂」の二施設を運営する。

贈呈式は損害保険ジャパン山形支店米沢支社で行われ、五田市番弘支店長が阿部英利副理事長に決定通知書を手渡した。同記念財団は一九七七(昭和五十二)年、社会福祉助成を目的に設立。NPO法人の設立助成は

九九年度からで、本年度は、全国で七十団体に総額二千百万円を贈る。

助成先の「置賜自然と共育の村」さんは、NPO法人化にむけての勉強も熱心にされており、新事業として「障害児デイサービス」「障害者就労支援事業」を開始される予定と伺いました。法人化を取得されてからの一層活発な活動が大いに期待されます。

(山形支店 高柳 恵子さん)

## 30万円助成を決定

損保ジャパン記念財団

新潟市自閉症親の会に

損保ジャパン記念財団(東京都)は、障害者や高齢者支援の活動に取り組み七十団体に助成金として各三十万円を支援することを決めた。本県では新潟市自閉症親の会に

(角田千里会長)が助成を受ける。

同財団は、民間レベルの福祉活動を推進しようとして、一九九九年から福祉関連の特定非営利活動法人(NPO法人)の設立などをサポート。今年までに全国六百四十団体に助成、支給額は一億九千万円に上る。

新潟市自閉症親の会は七三年の設立後、自閉症児の親同士の情報交換や

相互支援などを行ってきた。自閉症児を含む知的障害者や認知症の高齢者の財産を保護、管理する「成年後見制度」のスタートをきっかけに、法人化を目指している。角田会長は「自閉症に対する誤解や偏見を解消する啓発パンフレットづくり」に助成金を役立てたいと話している。

贈呈式は五日、新潟市の損害保険ジャパン新潟支店で行われる。





今回の贈呈先は、福祉サービス提供事業者に対して、その事業者が提供する福祉サービスの質を、公平中立な立場で評価したり、事業者や職員に対する研修・相談事業を行うNPO法人でした。

式後の懇談会では、これまでの活動内容や将来のビジョンについて大変熱心に語って頂きました。

助成金が社会福祉の更なる向上に寄与することにとっても感銘を受け、今後とも可能な限り協力をしていきたいという思いに満たされました。

(金沢支店 鈴木美香さん)

損保ジャパンが助成金  
損保ジャパン記念財団  
はNPO法人のシナジ  
スマイル(金沢市)に30  
万円の  
助成金  
交付を  
決定し  
た。日  
保日  
損保  
ジャパン  
金  
沢支店で贈呈式(写真)  
が行われ、田島幸広支店  
長は「社会福祉の貢献に  
役立ててください」と述  
べ、小坂健二代表に通知  
書を手渡した。

11. 北國新聞 (8/5)

12. 福島民友 (8/11)

「光と風の工房」に  
助成金30万円贈る  
損保ジャパン記念財団  
損保ジャパン記念財団の  
特定非営利活動法人(NP  
O)助成金贈呈式は十日、  
福島市で行われ、同市の小  
規模作業所「光と風の工房」



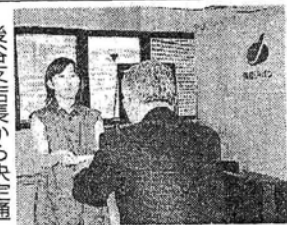
後谷支店長から決定通知書  
を受け取る村上さん(左)  
村上代表は「知的障害  
者の自立を目指し、地域に  
貢献できるような頑張りを  
い」と述べた。同工房は助  
成金三十万円を活用し、十  
一月のNPO法人化を予定

(村上由紀代表)に決定通  
知書を伝達した。  
式では、後谷雅美福島支  
店長が「地域の社会福祉の  
向上に寄与してほしい」と、  
村上代表に通知書を手渡し

している。  
同財団は一九七七(昭和  
五十二)年から社会貢献活  
動として助成を行って  
る。NPO法人設立への助  
成は九九年から実施、今年  
は全国で七十件、総額一  
百万円を助成した。

贈呈式には地元テレビの取材もあり、損保ジャパンのよいアピールになったのではないかと思います。新聞2紙にも取材に来ていただけ、NPO等の活動に対して関心の高さがうかがえました。助成先の「光と風の工房」様からは代表者1名の出席でした。TVの取材にも堂々とコメントをいただき、助成金も喜んでいただけました。大変有意義に活用いただけたようです。  
(福島支店 星育恵さん)

光と風の工房に  
助成金30万円  
損保ジャパン財団  
損保ジャパン記念財団  
は十日、福島市の小規模  
作業所「光と風の工房」  
に三十万円の助成金決定  
通知書を贈った。NPO  
法人の設立支援を目的と  
した助成で、今年度は光  
と風の工房をはじめ全国  
の七十団体が選ばれた。  
贈呈式は福島市の損保  
ジャパン福島支店で行わ



後谷支店長から決定通  
知書を受け取る村上代  
表(左)

れ、後谷雅美支店長が村  
上由紀代表に助成金決定  
通知書を手渡した。  
光と風の工房は障害者  
の自立と地域社会への貢

13. 福島民報 (8/11)

献を自指し、豆腐つへり  
なごを手がけている。